------7月21日------

※ 今週のアウトルック（7/21～7/25）

　先週は前半はリバウンドによる円安が幾分進みましたが、
17日のマレーシア航空機墜落事故から、状況は一変しました。
　ウクライナ内部の問題に留まらず、ロシアと西側諸国との関係悪化に発展する可能性も
否定できないため、リスクオフムードが強まっています。
　今週はイスラエル情勢なども含め、余談を許さない状況が続くため、
リスクオフ継続という見方が強いように思います。

　先週のドル円は週初、101.4円付近からの折り返し状況が感じられましたが、
マレーシア航空機事故から一変し、再び101円付近まで下落してきています。
　今週もまだ、政府要人の発言に対し、神経質な状況は続きそうです。
大きな変化がない場合には、手探り状態の中、小動きな展開となることが、
予想されるように思います。

　米ドル円の予想レンジは100.5円から101.8円です。

　ユーロは、ウクライナ情勢の悪化などから、地政学的なリスクが膨らんでいます。
ユーロ円は、既に137.5円付近のサポートラインを割ってきていることから、
136円付近まで円高が進む可能性が、幾分高くなっているように思います。
　今週大きな情勢の変化があった場合には、一気に急落という可能性も、
想定しておく必要があるように思います。

　ユーロ円の予想レンジは136円から138円です。

　ポンド円は、マレーシア航空の事故がなければ、再び175円を目指す状況になっていた
ように思いますが、現状は状況が読みづらくなってきています。
大きな変化がなければ、様子見的な動きになる可能性が高いように思います。

　ポンド円の予想レンジは172.5円から174.5円です。

　今週は東西関係の今後を占う上で、重要な週となるかもしれません。
急激な変動に対しては、十分な注意が必要です。

＊免責事項＊
当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。